

沖縄県内離島の歴史・文化・教育施設等の視察・体験研修を通して、教育研究員の今後の教育活動の充実と資質の向上を目的に、5月21日～23日(2泊3日)の日程で渡嘉敷島にて宿泊研修を行いました。

1日目は、渡嘉敷村教育委員会を訪ね、島の概要のお話しを伺い、島内の史跡巡りを行いました。その後、米田秀明さんをガイドに平和学習を行いました。

2日目は、渡嘉敷幼稚園で、当教育研究所で離島長期研修を修了した我喜屋なおみ教頭先生から特色ある保育実践について、説明をうけた後に保育参観を行いました。その後、渡嘉敷小中学校を訪問し、小学校の授業参観を行った後、上原義弘校長先生より、学校説明等をお伺いしました。昼食後は、渡嘉敷村クリーンセンターを視察し、離島におけるゴミの現状を垣間見ることができました。

その後、島にもう一つある阿波連小学校を訪ね、川口正一校長先生に施設を案内していただきました。

3日目は、国立沖縄青少年交流の家の体験プログラムを活用し、午前中は、「フィールドワーク」、午後は「シュノーケリング」を体験しました。

下記が3日間で、多くの学びをした教育研究員のみなさんの感想です。

1日目、渡嘉敷島に到着後は、教育委員会を訪問し、島の概要や教育、特色ある取り組みについて説明していただきました。お話からは、渡嘉敷の自然や文化を生かしながら島全体で子どもたちを良い方向に育てていこうという雰囲気がとても感じられました。資料を準備していただいたり、史跡巡りに同行していただいたりと私たちの研修のためにご尽力くださったことへのありがたさを感じることができました。

平和学習では、渡嘉敷での集団自決の悲惨な状況をお話していただき、始めは言葉も出ないほど衝撃を受けました。ずっと戦争のことを語りたがらなかったガイドの米田さんのお母さんの「あの時は死に切れた父がうらやましかった。死ぬことが正しいという教育をされていたから」という言葉が心に残り、教育の持つ影響力の大きさや、私たち教師の責任の重さを改めて感じました。しかし、戦争の悲惨さを伝えるだけではなく、平和のために何が出来るかを考えていくことも平和教育につながると思うので、幼児にどう伝えていくか考えていきたいです。

(金城さくら)



写真1 平和学習

2日目の午前。渡嘉敷幼稚園では、子どもたちが人なつこくて、友達同士もとても優しいという印象を受けました。これまで美恵子先生や津金先生が「環境構成」の重要性を指摘していましたが、実際になおみ教頭先生の説明から、園庭や遊びの遊具などの置き方、子どもたちの注意の引き方等が意図的に計画されていることを目の当たりにし、大きな学びになりました。

渡嘉敷小中学校では、子どもたちを温かく見守る学校職員や保護者、地域住民の大きな団結力を感じました。授業参観では、バドミントンのペアや対戦相手との声かけや教え合い、励まし合いの姿が見られ、かわりを意識した授業を参観できました。渡嘉敷では生徒指導ゼロで、島から巣立った後も自立心が強く、活躍する子が多いそうです。地域に支えられ、結びつきの強い離島教育に携わってみたいくなりました。(長門照乃)



写真2 渡嘉敷幼稚園訪問

2日目の午後に訪問した、クリーンセンターでは、話で聞いたこと、本で見たことと、実際に目で見ることの違いを感じました。実際に見ることで得る感動とわくわく感は児童なら私たち大人の何倍もあるのだろうと感じました。このことは、授業にも言えることだと思いました。教えるだけでなく、感動を伝えることが大切なんだと思います。

渡嘉敷村立のもう一つの小学校、阿波連小学校では、改築前の古い校舎で、職員が工夫して教室を確保している様子に頭が下がる思いがしました。職員と児童の会話などから、職員が一人一人の児童を大切にしている様子が見えてほほえましく感じました。
(大城厚)



写真3 阿波連小学校訪問

3日目は、体験を中心とした活動になりました。2日目まで、車での移動が多かっただけに今日の研修はとても楽しみでした。

始めのフィールドワークでは、青少年の家の散策でした。バスケットの合宿などで昔よく通っていましたが、それでも知らない場所がたくさんありました。また、所内にはさまざまな文化財がありました。ヒータチャーでは、電話の無い時代に船の帰りの合図としてのろしをあげるという工夫にとっても驚きました。3日間を通して、渡嘉敷島について新たに多くのことを知り、体験を通して改めて体験活動の良さを感じることができました。また、久しぶりにへき地教育に触れ、前任校（阿嘉小学校）と比べながら考えることができました。
(具志堅智美)



写真4 フィールドワーク
(具志堅智美)

3日目の午後、天候が悪く、気温も高くなかったので、実施すること自体を考えましたが、ウェットスーツを着ることですべて解消されました。シュノーケリングの4点セットを教えてもらい、安全に浮かぶことを事前に学んだので、楽しく海をのぞくことができました。照乃先生とバディを組み、なまこや太刀魚(?)を見ることができましたが、残念ながらカメを見ることができませんでした。自分では海が澄んでいるように見えたのですが、指導者によると全然透明度がない方だということだったので、夏休みには子供を連れて行きたいとおもいました。
(古屋誠一)



写真5 シュノーケリング



写真6 渡嘉敷村長を訪ねて



写真7 渡嘉敷小中学校訪問

